

中尾歌舞伎

伊那市創造館 第二十九回企画展



江戸時代から伊那市長谷の中尾地区に伝わる「中尾歌舞伎」。太平洋戦争以後は一時中断しましたが昭和61年に復活して以来現在まで続いています。上伊那に残る唯一の地歌舞伎である「中尾歌舞伎」。その歴史と現在をどうぞご覧ください。

令和5年3月25日(土)～6月26日(月)

【入場無料】 午前10時から午後5時まで (最終受付時間 午後4時45分)
休館日/毎週火曜日 (詳細は伊那市創造館HPの年間カレンダーをご覧ください)

伊那市創造館2階 企画展示室

オープニング式典

3月25日(土)
午前10時30分から

一般の方もぜひ
ご参加下さい

中尾歌舞伎



日本列島のほぼ中央に位置する信州、その中でも中心にあり中央アルプス山脈と南アルプス山脈に挟まれた伊那谷は、古来より東西南北をまたぐ幾多の街道が開かれ、その街道からは塩・文化・信仰などがもたらされました。

南アルプスの中央構造線に沿うように通された「秋葉街道」は各地の文化を運び、その山深い地形の谷間へ文化がとどまりました。山間の集落では神楽・風流踊り・人形浄瑠璃・地歌舞伎が根付き、一部はユネスコの無形文化遺産にも登録されています。その秋葉街道沿いにある伊那市長谷の中尾地区が継承してきた「中尾歌舞伎」は、現存する地歌舞伎のひとつで、上伊那に現在唯一残っている地歌舞伎です。

中尾歌舞伎の発祥は明和4年に旅役者の一座が興行で中尾地区に滞在した記録があり、その頃に住民が台本を写し所作を習ったのが始まりといわれています。農村での娯楽として継承されてきた中尾歌舞伎ですが、太平洋戦争を機に公演を中断します。しかし約40年後の昭和61年に地元の青年会が古老とともに復活させ現在に至ります。山間地域の文化や祭りの伝承は、担い手の若者の多くが都市部に流出し地域が過疎化することによって途絶えるものが多いのが現状で、中尾歌舞伎保存会も同じ問題に直面しています。今回の展示では、中尾歌舞伎の歴史と現在の姿をご紹介します、地域の伝統芸能の魅力を皆様にご紹介いただき、また担い手に加わるきっかけになっていただければ幸いです。



- 電車利用……JR飯田線伊那市駅より徒歩4分
- バス利用……伊那バスターミナルより徒歩3分
- 自動車利用……中央道伊那インターより15分
……中央道小黒川スマートインターより10分

※お車でお越しの方へ
いなっせ駐車場など、市営駐車場をご利用の上、駐車券を創造館1階事務室までお持ちください。無料化いたします。
※ホームページは…

「伊那市公式」を検索 → www.inacity.jp → [くらし・行政](#)
→ [図書館・美術館・博物館](#) → [伊那市創造館](#)

伊那市創造館
INA-CITY SOUZOU-KAN

〒396-0025
伊那市荒井 3520 番地
TEL:0265-72-6220
FAX:0265-74-6829
Mail:szk@inacity.jp

